

【3-2】日常生活支え合い実践事業

自治会型デイホーム利用促進事業 (福井市)

基礎情報

実施地域	湊地区
実施主体	湊地区社会福祉協議会
所在地	福井市学園1-4-8 湊公民館内
代表者	野口 つぎ代

平成23年度の事業概要

利用者の身体的困難を緩和するために、備品を購入して利用促進に努めた。
湊地区では膝が悪くて正座が困難な利用者が多いため、座卓でも使える和室用の椅子を購入し、デイホーム当日に使用した。

現在の活動状況

平成12年からデイホームを始め、地区内の公民館やお寺で行い現在は14会場で行っている。
ひと月5回開催し、認知症予防やレクリエーション等楽しく介護予防を行っている。

<概要>

地区内の公民館、集落センター等の集まりやすい場所を会場とし、ひと月5回開催し、概ね65歳以上の高齢者が利用する。転倒骨折予防体操、認知症予防メニュー、レクリエーションを行いながら、介護予防を行っている。23年度は延べ人数で1,265人が利用している。

<維持管理>

地区社協備品として取扱い、和室で椅子がない会場に設置した。

<利用状況>

20~25名程度の利用があり、膝が悪い利用者が使用している。

事業の実績、成果

和室でも使えるため、膝が悪く今まで立ち上がりに苦労していた利用者の動きが緩和した。

工夫した点

腰痛や関節痛を抱える高齢者にとって、畳では座りにくいため安定感があって座り心地の良いイスを設置し参加しやすくなるよう工夫した。

また、遠慮して使用しない場合は無理に進めることはせず、利用者の意思を尊重した。

事業の財源

平成23年度の地域支え合い体制づくり補助金で、利用高齢者の身体的困難を緩和するための備品を購入。自治会型デイホームは、市社協補助金、地区社協自主財源、利用者負担金、寄付金で運営されている。

課題

椅子は立ち上がりが楽なために、使用したい人が多い時は数が足りなくなったり、また、膝が悪く椅子を勧めても、他の人が座っていないと、遠慮をして座ることを拒む場合がある。

今後の目標

一人でも多くの高齢者にデイホームに参加してもらい、地域のつながりや交流を大事にしながら、介護予防につなげたい。

団体からのメッセージ

湊地区では、毎回にぎやかにデイホームを行っています。これからも椅子を活用しながら、一人でも多くの高齢者に利用してもらえるように、楽しい雰囲気を作っていきたいと思っています。